

北インド高原の物語

目次

- 序章 歴史的背景と各章の案内
- 第一章 イーデン兄妹の大行軍
- 第二章 ホノリアとヘンリー、北西インド二人三脚の旅
- 第三章 アウグスタ・キングの思い出
- 第四章 黄金期のイギリス領インド
- 第五章 サラが見た異郷の風景
- 第六章 デヴィの丘
- 第七章 アイリスとイヴオンヌのインド体験
- 第八章 植民地の岐路、二つの共和国誕生へ
- 補章 シムラにて

内容紹介

植民地時代の北インドは、ロシアに対する防衛の拠点であり、北方の高地は夏季のイギリス人の避暑地となる重要な地点であった。

本書は、主として史料に登場する実在の人物に焦点を当て、北方の高原地帯を中心としたイギリス植民地時代の人々の姿を読み物風に描き出す。

著者
紹介

北原靖明 (きたはら・やすあき)

英国近現代史、特にイギリス植民地研究が主なテーマ。東京大学卒業、英国ウォーリック大学で修士号。大阪大学で博士号「文学」取得。

主な著作に、

『インドから見た大英帝国』（昭和堂、2004）

「ヒル・ステーション—インド植民地における英国人の特異な空間」（『空間のイギリス史』所収、山川出版社、2005）

「キプリングの帝国」（『キプリング—大英帝国の肖像』所収、彩流社、2005）

「セルヴォンとナイポール—相対するコスモポリタニズム」（『現代インド英語小説の世界』所収、鳳書房、2011）

『カリブ海に浮かぶ島トリニダード・トバゴ—歴史・社会・文化の考察』（大阪大学出版会、2012）

『東西回廊の旅』（叢文社、2014）

『ラテン・アメリカの旅』（叢文社、2017）

『ヨーロッパ時空の旅』（叢文社、2021）

訳書に、

「百の悲しみの門」（『キプリング—インド傑作選』所収、鳳書房、2008）

* 2022年12月下旬、全国の書店・ネット書店にて発売予定。ご予約も可能です。

【ご注文方法】

ご注文はお近くの書店・ネット書店からお願いいたします。

小社に直接ご注文の場合は、送料・手数料として300円がかかります。

左のQRコードを読み取ると、Amazonの『北インド高原の物語』のページに移動します→



— イギリス植民地時代に生きた人々の記録

図書出版 昭和堂

〒606-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1

TEL 075-502-7500 info@showado-kyoto.jp http://www.showado-kyoto.jp